

## 「平成24年度公募助成(活動・研究)」助成先一覧

( )印は継続助成先

(団体名50音順、単位:万円)

活動名称	団体名	主な活動内容	助成額
非心停止例への対応 ・災害時の互助を支援するための「応急手当コース」の確立と普及事業	特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会	突然死の原因となる心停止を未然に防ぐためには、「応急手当」が適切に実施されることが重要であることから、DVD教材等を作成するとともに、応急手当に関する市民セミナーを開催する。	100
子どものための水面安全レスキューサポーター養成 ( )	特定非営利活動法人オーシャンゲート ジャパン	子どもに対する応急手当と水面での実践的な人命救助を身につけることのできる「日帰り子どものための水面安全レスキューサポーター養成講習会」をプールを使用し、毎月開催する。	100
ありがとう・おかげさま・おたがいさま - 作業所復興支援・支援市	ガリレオクラブインターナショナル	東日本大震災で被災した障がいのある方への支援は、手が行き届いていないのが現状であることから、東北地方の作業所の方を神戸に招き、阪神淡路大震災で被災した神戸の作業所と協力して「被災作業所応援市」を開催するとともに、復興への未来を考える交流会を実施する。	100
香りとタッチの応援隊(アロマセラピストが、身体とこころをほくします)	特定非営利活動法人関西アロマセラピスト・フォーラム	宮城県内にある仮設の集会所などで、被災者の方の心身のケアとして、傾聴しながらアロママッサージを行なう。また、PTSDの予防、心身のケア技法として、被災地の支援団体の方にアロマセラピーのハンドマッサージの指導を行う。	100
西宮市および周辺都市における県外避難者の支援	関西学院大学復興制度研究所	西宮市及び周辺市に避難して来られた被災者の方々を対象に、被災者同士の交流と情報交換を目的とした交流会を2ヶ月に1回開催するとともに、復興支援に詳しい専門家や法律家による相談会を実施する。	60
住民主体のサークルをきっかけとした仲間づくり ( )	関西学院大学ヒューマンサービスセンター	水害被災地である佐用町の復興のため、「友達をたくさん作ろう！」というキャッチフレーズのもと、住民サークル(押し花、竹細工、料理)の立ち上げを行ない、住民の方が復興の主体となるための後押しをする。	80
市民に対する小児の救急救命処置の啓蒙 - “不慮の事故による子どもの死亡”をなくそう-	近畿大学医学部 奈良病院 小児外科	小児外科学会近畿地方会での市民公開講座における「子どもに対する蘇生法」や、近畿大学医学部奈良病院での小児救急実技指導の開催を通じて、小児の不慮の事故における救命率の上昇を図る。	100
熊野地区復興基盤造り事業	熊野百間深谷自然学校	平成23年9月に発生した台風12号の土砂ダムで破壊された地区の復興に関して、若いボランティアを招き入れ、地元住民との連携による復興会議を行い、新しい自然公園としての整備計画及び整備に取り組む。	100
キッズ防災検定 ( )	特定非営利活動法人検定協議会	兵庫県下の各小学校で防災と災害時の対応に関する検定(無料)を行い、子ども達に阪神淡路大震災の経験・教訓の継承を図るとともに、防災意識を高めていく。	100
東日本大震災被災者のための兵庫での受け入れ(一時滞在含む)事業	特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター	定住外国人支援事業で培ってきた移住者支援のノウハウを生かし、東日本大震災の被災地から兵庫県内に避難される被災者の移住にかかる相談や生活支援を行うとともに、春休み・夏休みを利用した福島県内の子供たちと保護者の一時滞在受け入れを行う。	50
災害時要援護者避難訓練・全世帯避難訓練 子どもサバイバルキャンプ(防災訓練)	桜ヶ丘2丁目自治会	災害時救出用資機材・備品をさらに充実させ、より実践に即した避難訓練や小中学生を対象としたサバイバルキャンプを実施し、防災知識、実技の体得及び防災意識の高揚を図る。	85
防災まちづくり「災害に備えて - 地域と企業の取組み -」 防災活動発表会&「防災「地産地消」-よいもの・わかりやすいもの-」展	特定非営利活動法人 震災から命を守る会 和歌山県本部	9月1日、2日に、和歌山県の自治会や地元企業の防災に関する取り組み内容を発表する「防災活動発表会」を行うとともに、地元企業が生産する防災用品や非常食、防災に関する情報を公開する「防災「地産地消」」展示会を開催する。	72
「4.25 あの日を忘れない」 -被害者の真の回復と、事故の風化防止、安全で安心できる公共交通機関の実現を願って- ( )	「空色の会」 - JR福知山線事故・負傷者と家族等の会 -	福知山線列車事故の風化防止を願い、3回目となる「メモリアルウォーク」の開催と「空色の菜」の配布、及び公共交通機関の大規模事故の際の被害者(生存者)サポートのあり方を具体的に検討する勉強会を開催する。	90
台風12号被災者応援事業	つれもて和歌山	視覚障害者の方の平成23年9月の台風12号の被害を受けた被災者の方々に対するボランティアに参加したいという思いから、視覚障害者の方による心身のリフレッシュを目的としたマッサージと傾聴ボランティアを行なう。	54
第4回 灯りてつながる夜 ( )	灯人	キャンドルナイトをはじめ事故に関連するパネル展示、音楽演奏により、福知山線列車事故から生まれた様々な「つながり」に気づく場を創りあげるとともに、事故関係者の心のケアと事故被害の風化防止を図る。	100
セラビードッグ派遣事業・災害救助犬の育成事業 ( )	特定非営利活動法人日本レスキュー協会	当財団からの助成金により平成23年度に育成したセラビードッグを東日本大震災や平成23年9月の台風12号における被災地に派遣するとともに、災害・大規模事故現場で捜索活動を行なう災害救助犬の育成を図る。	100
災害・救急時、要援護者支援活動	晴美台校区福祉委員会	災害時・救急時に要援護者を迅速、的確に救助することを目的に、地区全体に要援護者の情報が入った「安心カプセル(仮称)」を配布し、持つことを呼びかけるとともに、災害時の備えや近隣の大切さの再認識を促す。	10
障害者の防災～自助力向上！ワークショップの開催事業	特定非営利活動法人 びーす	障がい者の防災として、「当事者の自助力をアップするワークショップ」を実施し、障がい者とその家族の防災意識を高めるとともに、開催したワークショップの様子を広く伝える印刷物を障がい者団体に配布し、ワークショップの実施方法を伝授する。	80
～JR福知山線列車事故 被災者支援募金イベント～ ( ) 第7回フレンズかわにしフェスティバル 第2回フレンズかわにし講演&コンサート	フレンズ川西フェスティバル実行委員会事務局	福知山線列車事故の風化防止のため、「第7回フレンズ川西フェスティバル」を開催し事故被災者支援のための募金を呼びかけるとともに、事故現場に立ち会った救急医や看護師、PTSDに取り組む医療関係者による救急、防災をテーマとした講演会を行う。	100



## 「平成24年度公募助成(活動・研究)」助成先一覧

(研究者名50音順、単位:万円)

研究名称	研究者名	主な研究内容	助成額
安心して受け、実施できる救急医療の法システムの研究	京都大学公共政策大学院 特別教授 小西 敦	救急医療関係者から救急医療時に感じていたり、患者から示されたりする法律上の論点を聴取り、救急医療についての法的課題を整理し、安心して治療を受け又は治療を行うことができる救急医療の法システムの構築を提言する。	200
被災地における仮設住宅団地のコミュニティーサポートに関する研究	奈良県立大学地域創造学部地域総合学科 講師 古山 周太郎	平成23年9月の台風12号や東日本大震災における被災地の仮設住宅団地を対象にしたコミュニティーサポートの実践活動やアンケート調査をもとに、支援策の課題点や評価点を整理し、被災者の共同の暮らしを支えるコミュニティーサポートについて実践的な方法論を提案する。	158
事故による外傷性脊髄損傷患者の生活習慣病の発症予防に関する研究	大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 教授 佐浦 隆一	外傷性脊髄損傷者を対象に低周波刺激装置を用いて四肢及び体幹の麻痺深層筋の非随意的筋収縮運動を行い、生体に及ぼす影響と外傷性脊髄損傷者の生活習慣病発症予防の可能性を検討する。	200
被災状況の上空からの撮影・提示システムに関する研究	神戸大学 准教授 深尾 隆則	自律型飛行船システムにより取得した画像とレーザーデータを統合し、救助計画策定者、レスキュー隊に被災した建物などの状況を俯瞰的に見ることができる提示システムを構築する。	200
災害モニュメントを活かした災害に強いまちづくりの研究	近大姫路大学教育学部通信教育課程 講師 松下 正和	災害モニュメント関連資料(記念碑・災害痕跡・文献資料・伝承など)の調査・収集・分析により、過去の被害事例をよりリアルに復元するとともに、その被害事例の共有により、住民の自助や共助をソフト面・意識面から支援し、よりリアルで実効的な防災・減災対策に反映していく。	140
大学生の“素朴な”心のケアの実践者になるためのプログラム開発とその評価:キャンプの実践を通じて	畿央大学教育学部現代教育学科 助教 良原 誠崇	学生による“素朴な”心のケアの実践のためのプログラムを作成し、当事者とのボリフォニック(多声的)な場の生成を行うキャンプの実践を通じて、そのプロセスや効果について評価する。	200
自転車と二輪車、及び自動車の共生に関する研究	帝塚山大学心理学部心理学科 教授 蓮花 一己	自転車利用者や二輪運転者、自動車運転者の意識と行動特性、相互理解について調べ、自転車利用者の安全を確保する手段として、他者との関係で自分の意識と行動特性の問題点を正しく理解し改善するための教育啓発活動の指針とマニュアルを作成する。	200

計7件 1,298